

2021年3月29日

軽井沢町議会  
議長 佐藤敏明 様

議員名 寺田和佳子

## 研修報告書

### 1 視察日程

2020年9月29日（火）

### 2 研修先及び目的

#### （1）自宅でのオンライン研修

##### ①ファシリテーターの技術向上について

### 3 研修参加者

寺田和佳子

### 4. 研修内容

#### （1）

◎研修目的：会議をオンラインで行う時に気をつけること

- ・オンラインでのやりにくさ
- ・対面会議との違い
- ・オンラインの長所と短所を理解した上でのファシリテーション

#### ◎考察

オンラインでの会議が主流になってきた現在、オンライン会議のメリットとデメリットを十分に理解した上で、ファシリテーターの技術向上をはかるため研修を行った。

2020年初めの頃感じた操作や接続環境によるオンライン会議への不安が解消され、近頃は会議の迅速な進め方、オンライン会議でも参加者が満足する結論の出し方などが重要であると感じるようになった。

今回はオンラインでもスムーズに進めることができ、内容も充実し、更に参加者の納得度を得られる会議の進め方をこの研修で学ことができた。

オンライン会議のメリットは、

- ・時間にとらわれない（日程を決めやすい）
- ・場所にとらわれない（場所の確保・広さを考える必要がない）
- ・資料を事前に配れ、紙でなくてエコである（画面共有やデータ送付で対応可）
- ・若年層の参加が可能になる
- ・気軽に手軽に参加できるものが増えてきた
- ・柔軟な働き方ができる
- ・移動にかかるコストを削減できる

オンライン会議のデメリットは

- ・カメラをオフにして参加することができる
- ・反応が分かりづらい（理解度が表情から見て取れない）
- ・意見を言うタイミングがとりづらい
- ・接続環境（Wi-Fi）の影響を受ける
- ・参加場所の周辺の影響を受ける
- ・一体感が味わえない
- ・会議開始時間が私生活に影響する
- ・会議の時間延長が可能になり、効率的な会議ができない

以上のようなメリットとデメリットを整理した。

ファシリテーションの基本を確認

- 1) ファシリテーションとは会議などの集団圧動を円滑に進め、成果が上がるように「段取り」したり「進行」「支援」すること。
- 2) ファシリテーターは議論の中身に関与せず、議論のプロセスに関与する
- 3) 会議を円滑に進め、メンバーの納得が得られる結論に導く
- 4) ファシリテーターは自ら合意案を提示してはいけない（参加者が自ら主体的に合意への方法を決める）

以上を導くために

**ファシリテーターに必要なこと**

- ① 会議目的を設定・理解し、事前準備と進め方を決める
- ② 参加者に会議への意識づけ・心構えをしてもらう
- ③ 会議ルールを決める（ホワイトボードなどに書いて見える化しておく）
  - ・お互いの意見への尊重
  - ・最終結論の出し方を明確にする
  - ・書記やタイムキーパーを決める（発言は1分以内、説明は3分以内）
  - ・賛同する場合はいいねボタンを押す、うなずくで
  - ・説明は課題→結論→理由の順で
- ④ 会議時間に気をつける

- ・ 会議時間の長さによるストレスと集中力の低下に気をつける
- ⑤ 考える時間をしっかりとる
- ⑥ 決定する方法を会議前に決めておく
- ⑦ 目標を見える化しておく（意見があらぬ方向へ行った場合に目標に戻れるように）

#### **参加者となった場合に必要なこと**

##### *話し手のポイント*

- ・ カメラを見て話す
- ・ 表情や身振り手振りを加える
- ・ 発言する際は所属や名前を名乗る
- ・ 発言は歯切れ良く、ゆっくり話す。わかりやすい説明をする。
- ・ 話を短めにする

##### *聞き手のポイント*

- ・ 賛同のいしはハッキリと。良いねボタンや大きなリアクションをとる
- ・ 聞こえにくい時はその旨を伝えたり、ジェスチャーをとる
- ・ 生活音が入らないよう発言しない時はマイクをオフにする

#### **まとめ**

オンライン会議は対面式の会議よりも、丁寧に参加者の表情や反応を見ることが大切になる。会議が長引きすぎると集中力がなくなり、問題への意識が薄れるので会議時間には注意すること。意見の対立は悪いことではないので、ファシリテーターは意見の対立を恐れず、対立する双方が Win-Win の関係になるような解を導きだすようサポートすることを心がける。合意形成の方法は参加者が提示できるよう促し、合意できるようサポートする。

あくまでも、ファシリテーターはサポーターにすぎない。自分の意見をのべたり、発言者への同意を示したりすることは避け、質の高い議論を参加者の納得を得つつ進める支援を心がけたい。